

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

«試料・情報の利用目的及び利用方法»	<ul style="list-style-type: none">●研究の名称 腹部ステントグラフト内挿術後、遠隔期開腹手術症例に対する後ろ向き観察研究●研究の対象 2007年1月～2028年3月に当院で腹部ステントグラフト内挿術を受けられ、術後に開腹手術を受けられた方●研究の目的 腹部大動脈瘤または総腸骨動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後の遠隔期に、開腹手術による追加治療が必要になる危険因子を探索的に検討することが目的である。●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2028年3月まで●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。
«利用し、又は提供する試料・情報の項目»	<ul style="list-style-type: none">●研究に使用する試料・情報 情報：背景因子、身体所見、動脈瘤形状、術中所見、術後経過項目、開腹手術所見
«利用する者の範囲»	<ul style="list-style-type: none">●機関名および責任者名 浜松医科大学 血管外科 佐野真規 九州大学病院 血管外科 森崎浩一 札幌医科大学 心臓血管外科 川原田 修義 大阪大学 心臓血管外科 三宅 啓介 旭川医科大学 菊池 信介

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

«外国にある者に対する試料・情報の提供»	この研究では外国へ情報を提供しません。
«試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称»	札幌医科大学附属病院 病院長 土橋 和文
«試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)»	あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下«問い合わせ先»をご確認ください。
«資料の入手または閲覧»	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
«情報の開示»	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
«問い合わせ先»	連絡先： 住所：〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291 電話：011-611-2111 内線33140 (平日：8時30分～17時30分) 011-611-2111 内線33140 (時間外、休日) 担当者：札幌医科大学 心臓血管外科 助教 柴田 豪